

講座名 第1回

沖縄の歴史・文化・自然を楽しもう

那覇教育事務所

1 講座の趣旨

沖縄の歴史に触れ、文化、自然を体験し
沖縄の良さを再発見する。

2 講座の概要

- ①期 日 平成30年7月7日(土)
- ②時 間 9:30~12:30
- ③学習時間 3時間
- ④実施場所 玉陵、識名園
- ⑤受講者数 26人

3 共催 なし

4 講座内容

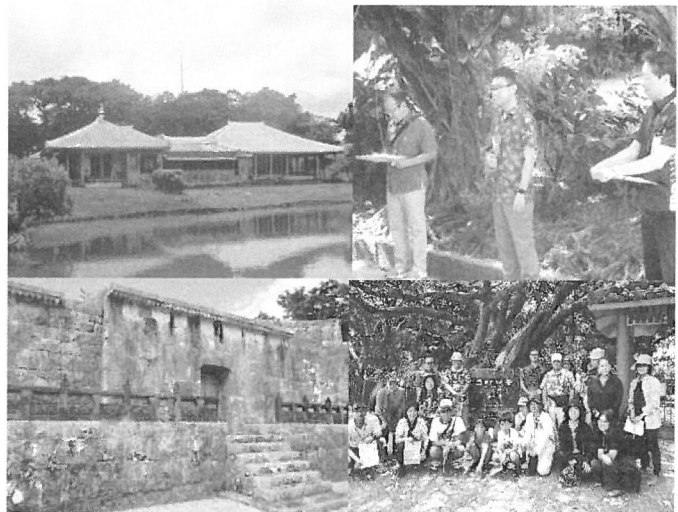
回	日時	場所	内容	講師名	受講者数
1	7月7日(土) 9:30~12:30	玉陵・識名園	玉陵・識名園 見学	鈴木 悠 氏 那覇市市民文化部 文化財課	26人

5 成果

- ・「玉陵・識名園の見学は、講師の解説がとても分かりやすく、質問にも丁寧に回答して頂いたのが大変勉強になった」「興味深く歴史を学ぶことができた」「自分なりに疑問に感じた事などを調べてみたいと思う」などの感想が寄せられた。
- ・参加者の幅を広げるという意味では、今回の世界遺産見学は有効だった。

6 課題

- ・屋外での説明用にハンドマイクを準備しておいた方がよかった。
- ・見学場所を途中で移動するので、移動経路の周知、集合確認の方法に工夫が必要だった。



講座名 第2回

沖縄の歴史・文化・自然を楽しもう

那覇教育事務所

1 講座の趣旨

沖縄の歴史に触れ、文化、自然を体験し
沖縄の良さを再発見する。



2 講座の概要

- ①期 日 平成30年8月14日(火)
- ②時 間 13:30~16:30
- ③学習時間 3時間
- ④実施場所 うらそえぐすく児童館
- ⑤受講者数 24人

3 共催 なし

4 講座内容

回	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
2	8月14日(火) 13:30~ 16:30	うらそえ ぐすく児 童館	親子 段ボールシーサー作り	仲地 輝美 氏 ガールスカウト	24人

5 成果

- ・親子で協力しながら楽しんで工作を行うことができた。
- ・子どもが一つのことに集中して取り組んでいる姿がよかった。
- ・同じ型紙なのに、箱の色や貼る位置や向きによって表情に違いがでるのが面白かった。
- ・親子参加型にしたので、刃物等でけがすることなく安全に講座を進行することができた。

6 課題

- ・カッターやはさみを使用するので、施設備品に傷がつかないようにするなどの配慮をしっかりと行う。
- ・講師と製作過程等について入念な事前調整をしっかりと行う。

講座名 第3回

沖縄の歴史・文化・自然を楽しもう

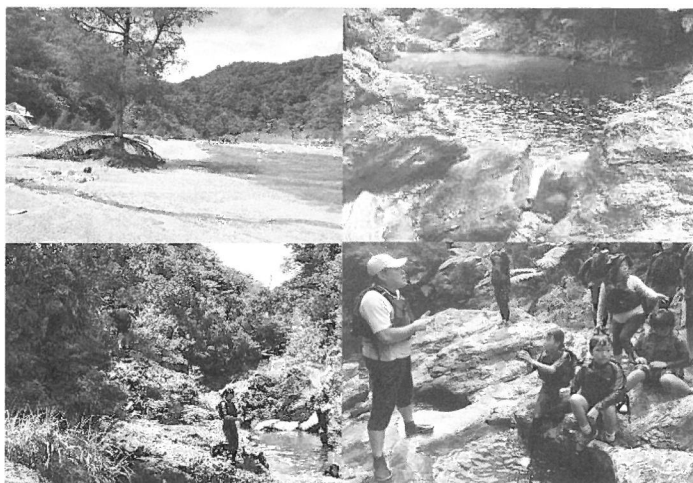
那覇教育事務所

1 講座の趣旨

沖縄の歴史に触れ、文化、自然を体験し
沖縄の良さを再発見する。

2 講座の概要

- ①期 間 平成30年9月8日 (土)
- ②時 間 10:00～13:00
- ③学習時間 3時間
- ④実施場所 国頭村楚洲伊江川
- ⑤受講者数 25人



3 共催 なし

4 講座内容

回	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
3	9月8日(土) 10:00～13:00	国頭村楚洲 伊江川	沢登り	福島 誠司 氏	25名

5 成果

- ・子供の成長過程の体験の一つとして素晴らしいものとなった。
- ・家族だけで沢登りを行うのは不安だが、福島さんの説明を聞きながらだったので、安心して自然に触れ合うことが出来てよかった。
- ・その地域の自然（生き物、地形 etc）や行事についても教えてもらったので、見聞を広めることができた。
- ・参加対象年齢を引き上げたので、安全に講座を進行することができた。

6 課題

- ・移動距離が長く、途中の休憩を含めた行程の確認。

沖縄の歴史・文化・自然を楽しもう

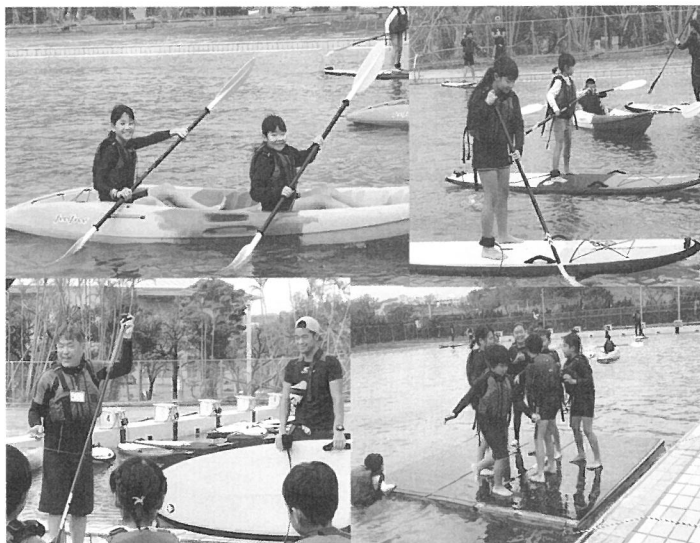
那覇教育事務所

1 講座の趣旨

沖縄の歴史に触れ、文化、自然を体験し
沖縄の良さを再発見する。

2 講座の概要

- ①期 間 平成 30 年 10 月 13 日 (土)
- ②時 間 10:00～13:00
- ③学習時間 3 時間
- ④実施場所 沖縄県総合運動公園
- ⑤受講者数 25 人



3 共催 なし

4 講座内容

回	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受 講 者 数
4	10月13日(土) 10:00～13:00	沖縄県総合 運動公園(50M プール)	SUP&カヌー	福島 誠司 氏	25人

5 成果

- ・初めての SUP&カヌーの体験でしたが、事前の丁寧な説明のおかげで上手に乗ることができ、家族で楽しい時間を過ごすことができました。
- ・参加した子ども同士仲良く体験することができたのでよかった。水上おしくらまんじゅうも楽しかったようだ。
- ・十分な数の SUP やカヌーが用意されていたので、待ち時間も少なく、参加者全員が満足いく体験をすることができたのでよかった。

6 課題

- ・プールでの開催だと、少し時間を持て余すところがあるので、開催場所の検討も必要。
- ・天候に左右されるので、開催時期の検討も含め講師との事前調整をしっかりと図る。

講座名 第1回

「島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』」

島尻教育事務所

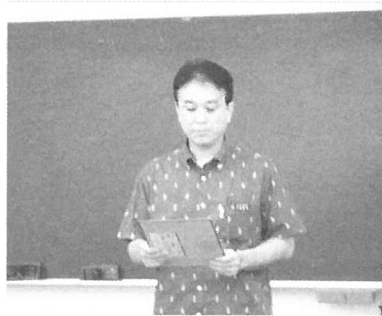
1 講座の趣旨

沖縄県民カレッジ広域学習サービスの全受講生を激励する機会とする。

【開講式】

南城市での地域づくりの活動をしている方の講話や視察を通してまちづくりに参画できる資質を育てる。

【第1回講座】



2 講座の概要

- (1) 開講式
- (2) 講話「花と緑でまちづくり」
- (3) 視察 南城市「つきしろのまち」
- (4) 実習「野菜を育てよう」



3 共催 南城市教育委員会

4 講座内容

回	日時	場所	内容	講師名	受講者数
1	11月22日(木) 9:00 ~12:00	南城市中央公民館 八重瀬種苗センター	(1) 開講式 ① 開式のことば ② 主催者あいさつ ③ 歓迎のあいさつ ④ 概要説明 ⑤ 閉式のことば (2) 講話 「花と緑でまちづくり」 (3) 実習1 与那原町の特産品(ひじき)を使って	【講話・視察】 新城 辰夫 氏 (つきしろ自治 会長) 【実習】 屋宜 宣行 氏 (じんぐらファ ーム代表)	24人

5 成果

- ・開講式の行政説明やあいさつを通して県民カレッジの意義について理解を深め、受講生の意欲を高めることができた。
- ・地域で活動している方の実践発表を通して、「地域づくり」「まちづくり」への意識を持つことができた。

6 課題

- ・開講式に参加できない受講者がいたので、場所や日程等をしっかり確認する必要がある。
- ・つきしろ自治会の視察の時に、資料があると良かった。

講座名 第2回

「島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』」

島尻教育事務所

1 講座の趣旨

南城市佐敷小谷地区の視察や「竹かごづくり」の体験を通して、地域資源を活かした取組について知り、地域活動に生かそうとする意欲を持つことができる。



2 講座の概要

- (1) 視察・体験〈南城市佐敷小谷〉
「うくくまーい」
「竹かごづくり」
- (2) 昼食：ハーブカフェ
ウコンサロン
(南城市佐敷)



3 共催 南城市教育委員会

4 講座内容

回	日時	場所	内容	講師名	受講者数
2	11月29日(木) 9:00～14:00	南城市佐敷 小谷	(1) はじめの言葉 (2) 講師紹介 (3) 視察「うくくまーい」 (4) 体験「竹かごづくり」 ◇昼食(南城市佐敷) 「ハーブカフェウコンサロン」 (5) おわりの言葉	「小谷自治会」 知念 松夫 氏 城間 紀克 氏 知念 正敏 氏	21人

5 成果

- ・南城市佐敷小谷の視察や体験を通して、地域づくりの取組について受講者の意欲を高めることができた。
- ・南城市教育委員会のバスを借用することができ、スムーズに視察することができた。
- ・昼食時に受講者の簡単な自己紹介を行い、交流の場を持つことができた。

6 課題

- ・視察と体験を合わせると時間が足りず、片付けや掃除の時間があまりとれなかった。
- ・昼食時の交流会の時間が足りなかった。
- ・欠席者の竹かごについて事前に確認が必要だった(講師の先生に作成してもらったことになった。)

「島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』」

島尻教育事務所

1 講座の趣旨

土づくりや野菜（スイートコーン）づくりの講話や実習を通して、受講生が主体的に地域づくりに参画できる資質を育てる。



2 講座の概要

(1) 講話〈花を楽しもう〉

「土づくりと野菜（スイートコーン）づくり」

(2) 実習

「スイートコーンを植えよう」

場所：八重瀬種苗センター



3 共催 南城市教育委員会

4 講座内容

	日時	場所	内容	講師名	受講者数
3	12月5日(水) 9:00 ~12:00	八重瀬 種苗センター	(1) はじめの言葉 (2) 講話 「土づくりと野菜（スイートコーン）づくり」 (3) 実習2 「スイートコーンを植えよう」 (4) 質疑・応答 (5) おわりの言葉	「じんぐら ファーム代表」 屋宜 宣行 氏	24人

5 成果

- ・講師が土づくりや肥料について分かりやすく説明してくれたことで、受講生の皆さんの理解を深めることができた。
- ・農業から学ぶ豊かな人間性について知ることができ、農業をすることの良さについて再確認ができた。
- ・若者の就労支援として、これからの農業のあり方についても学ぶことができた。
- ・「八重瀬種苗センター」や「農業法人 じんぐらファーム」について知る良い機会となった。

6 課題

- ・苗の取り出し作業を体験できなかった受講生がいたので、全員が体験できるように場を工夫する必要があった。
- ・時間にゆとりがあったのでスイートコーンと他の野菜1種類を実習に入れても良かった。

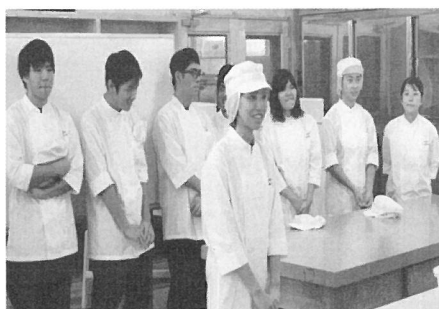
講座名 第4回

「島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』」

島尻教育事務所

1 講座の趣旨

お菓子（シフォンケーキ）づくりを通して、生活の中に食品づくりを楽しみ、地域活動に生かそうとする意欲を持つことができる。

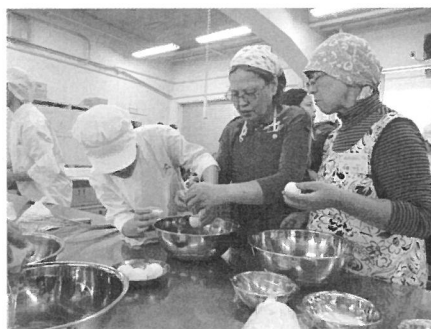


2 講座の概要

(1) 実習（食を楽しもう）

「お菓子づくり（シフォンケーキ）」

場所：南部農林高等学校



3 共催 南城市教育委員会

4 講座内容

回	日時	場所	内容	講師名	受講者数
4	12月13日(木) 9:00～12:00	南部農林 高等学校	(1) はじめの言葉 (2) 実習の説明 (3) 実習 「シフォンケーキづくり」 (4) 質疑・応答 (5) お礼の言葉（受講生代表）	島袋 健一 教諭 玉城 綾子 教諭 南部農林高等学校 食品加工科	23人

5 成果

- ・シフォンケーキを簡単に作ることができ、初めて作った方だけでなくこれまで作ったことがある方にも好評であった。
- ・各班ごとに講師として高校生がついてくれたお陰で、時間内に作業を終えることができた。
- ・特産品（シークワサー）を使ったケーキ作りを体験して、食品作りを通じた地域づくりへの意欲が高まった。
- ・講師の専門的な説明があり、受講者の今後の活動への意欲付けとなった。

6 課題

- ・南部農林高等学校の大きな行事（花まつり）の直後の日程だったので、調整が必要だった。
- ・お礼の言葉の依頼が遅かったので、事前に依頼をしておく必要があった。